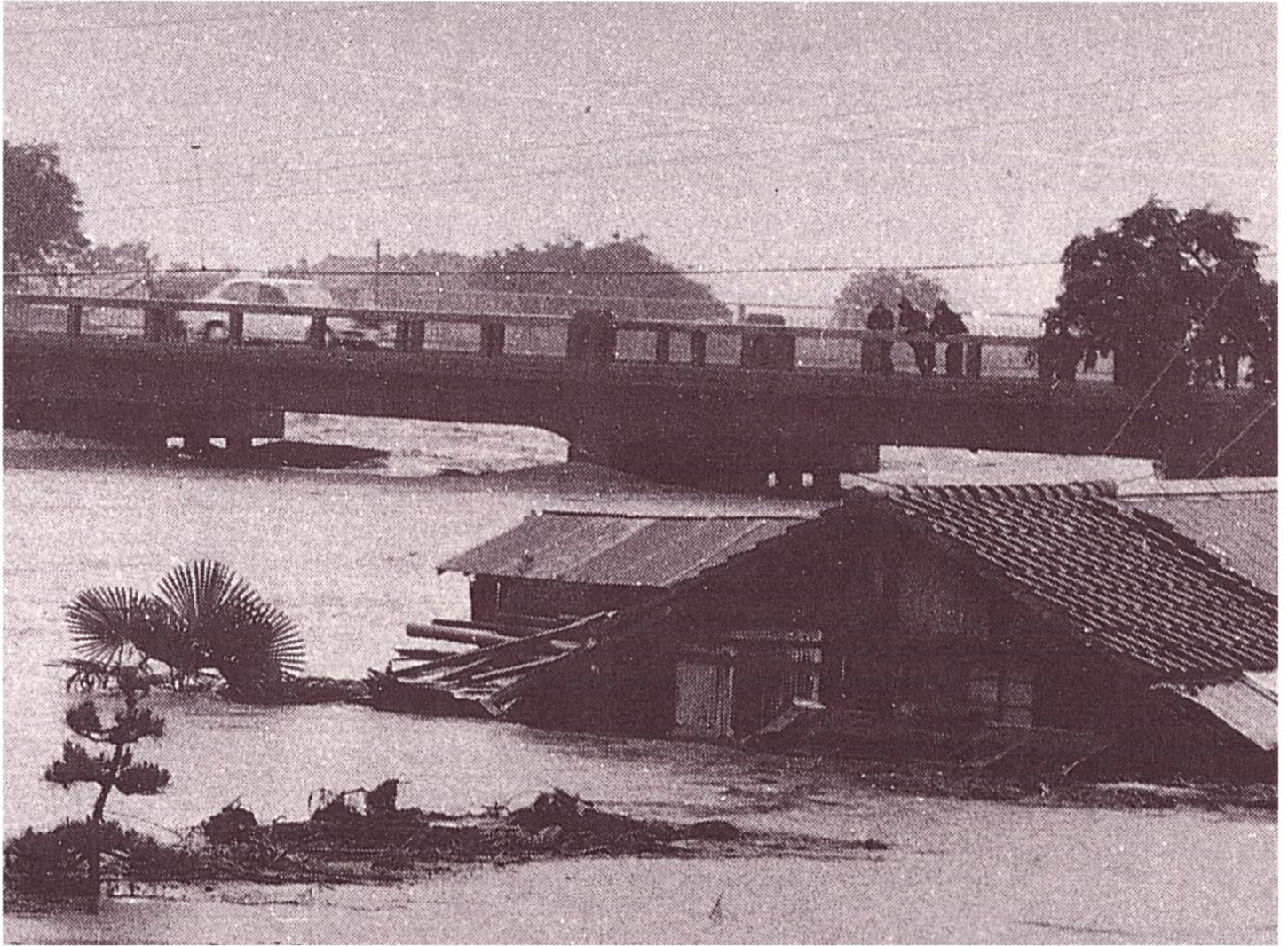




# ふれあい 放水路

1994  
(平成6年)  
第4号  
7月



当時の古志橋付近

あれから二〇年…

昭和三十九年、梅雨前線の停滞により七月上旬から雨が断続的に降り続き、激しさを増した十八日昼前から十九日午前四時までに、雨量は二五〇ミリ以上に達しました。

この災害は「山陰・北陸豪雨災害」といわれ、出雲市は土砂崩れ等により、死者四二名、重軽傷者二二一名、家屋の全半壊一七四戸、浸水家屋六五九九戸と、多くの尊い生命と財産が奪われるという未曾有の大惨事となりました。

この時、神戸川は警戒水位をはるかに越えて危険水位にまで達し、幸い堤防の決壊は免れましたが、下流部では妙見橋が流失してしまいました。

三十九年災からちょうど二〇年たった今年、ようやく放水路事業に着工しました。「天災は忘れた頃にやってくる」といいますが、洪水の危険がなくなるよう、一日も早い完成を目指したいと思います。

# 平成6年度の放水路事業計画

平成6年度の斐伊川放水路事業は、6月23日の予算成立により、全体事業費110億円をもって実施します。

今年度の事業計画は、拡幅部については境界となる水路工事や、新しく堤防をつくるための地盤改良工事を進めていきます。なお大島地区では、延長260mの堤防工事を他地区にさきがけて実施しています。

開削部については、一部山の開削工事を行うほか、本格的な開削工事に入る前の準備的な工事として濁水処理池をつくります。

また、開削部の文化財調査や、事業用地全体の管理、除草作業も引き続き実施していきます。

**神戸川河口では**  
将来、工事により伐採することになる防風林の代替植樹を5月に実施しました。

**向原地区では**  
代替住宅の造成に合わせた堤脚水路を施工します。

**中南地区では**  
延長550mの堤脚水路を施工中で、引き続き地盤改良工事を行う予定です。

**半分地区では**  
掘削によって発生する濁水処理するための沈澱池をつくります。

**大島・神門地区では**  
延長330mの地盤改良工事を施工します。

**朝山町内では**  
半分地区で掘削した土砂を土地改良事業に引き続き供給します。

**大島地区では**  
延長240mの地盤改良工事と延長260mの堤防を施工します。

**古志地区では**  
平成5年度から土地改良事業と合わせて、排水路付替工事及び神門塚橋改良工事を進めています。橋は平成7年3月には完成する予定です。

**けんせつ豆知識**  
堤脚水路とは、放水路事業の買収地内にある排水路や用水路を代替として、民有地との境界付近に新たにつくる水路のことです。



状況によって変更したり、上記以外に追加することがあります。

工事情報  
コーナー

開削部のパイロット道路工事

出雲市上塩冶町半分から同町自疆の間、延長五五〇mについて、昨年十月から今年六月にかけて山を削る工事を行いました。

開削部では、山を削る量が膨大なため、超大型ダンプトラックで土砂を運びます。そのために幅の広い工事用道路が必要となりますが、まず、工事用道路をつくるための建設機械や資材を運び込まなければなりません。この工事は、将来の開削にあわせ、これら運び込むための道路（パイロット道路）工事を行っているものです。

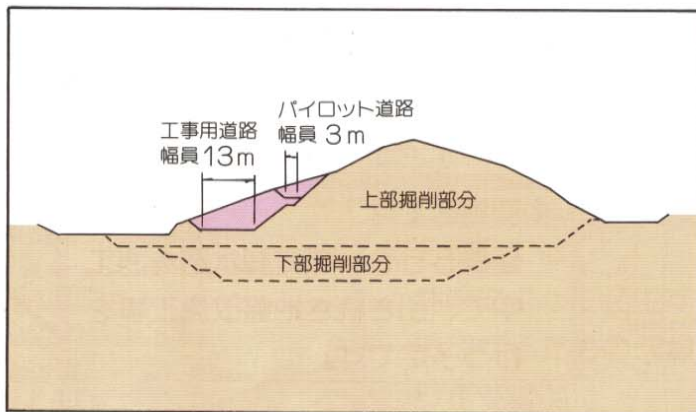
また、この工事で削られた山の土砂は、古志地区と朝山地区の土改良事業に供給しており、これからも二年ほど続く予定です。

今後は、このパイロット道路を利用して工事用道路や防災調整池などをつくり、出雲ドームのおよそ一九倍の九〇〇万㎡にも及ぶ大規模な開削工事に入ります。

工事箇所



断面図



「懐しいあの頃」

昔の神戸川の写真をお送りください。なお、写真を提供していただいた方には、お返しの際に引き伸ばしパネルを差し上げます。



建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所  
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本紙に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。  
問い合わせ先：ふれあい放水路担当



ふれあい  
放水路  
通信

水路でアユの  
つかみ捕り

六月一九日、出雲市下横町の水路工事現場で「下横地区ふれあいフェスティバル」が開かれ、地区住民の方々に水に親しみをもってもらったために、アユのつかみ捕りを行いました。水路に放流した四〇〇匹のアユを子供たちが必死に追いかけていました。

7/21▶31 森と湖に親しむ旬間  
森と湖のやさしさを伝えよう。